

(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

2024年 06月 20日

静岡県知事殿

提出者

住所 静岡県磐田市中泉2830

氏名 東海精機株式会社

取締役社長 大西 謙一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

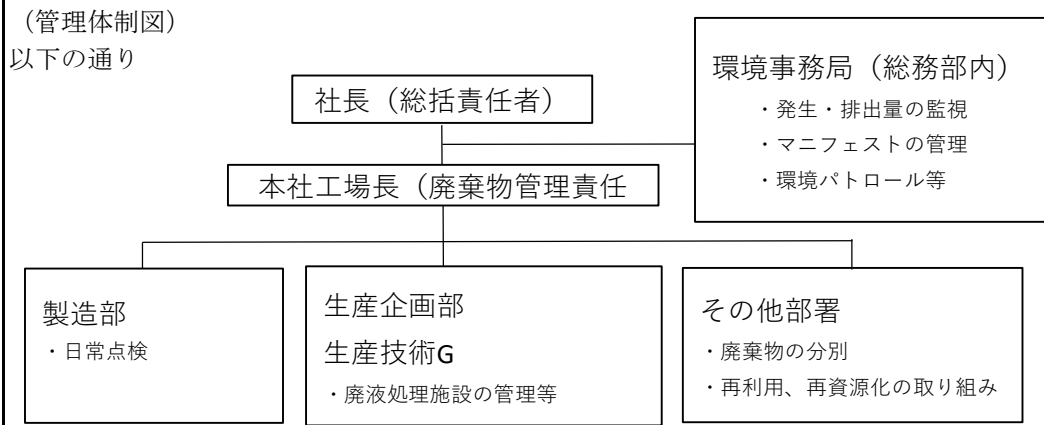
電話番号 0538 - 32 - 2126

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東海精機株式会社 本社工場		
事業場の所在地	静岡県	磐田市	中泉2830
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
① 事業の種類	輸送用機械器具製造業		
② 事業の規模	88.9億円/年		
③ 従業員数	280名		
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	以下の通り <pre>graph LR; A[製造工程 ・廃油 ・汚泥 ・廃プラ等] --&gt; B[廃油、廃液]; A --&gt; C[廃プラスチック 汚泥 その他廃棄物]; B --&gt; D[濃縮装置]; D --&gt; E[排水]; D --&gt; F[濃縮後 廃液]; C --&gt; G[処理委託業者]; E --&gt; G; F --&gt; G;</pre>		

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<b>【前年度（令和 5年度）実績】</b>	
	産業廃棄物の種類	排出量
	廃油	1,931.620 t
	廃プラスチック類	19.200 t
	汚泥（泥状のもの）	64.550 t
	木くず	3.450 t
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.000 t
	ばいじん（工場の排ガスを処理して得られるばいじん）	0.000 t
	蛍光灯	0.450 t
	乾電池	0.350 t
	(これまでに実施した取組) ・膜式離型剤処理装置の排水の一部下水化。 ・廃棄物発生量の抑制 ・水漏れ、油漏れによる排液発生への低減	
②計画	<b>【目標】</b>	
	産業廃棄物の種類	排出量
	廃油	1,570.000 t
	廃プラスチック類	19.000 t
	汚泥（泥状のもの）	35.000 t
	木くず	3.000 t
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.100 t

②計画	ばいじん（工場の排ガスを処理して得られるばいじん）	0.300 t
	蛍光灯	0.200 t
	乾電池	0.200 t
	（今後実施する予定の取組） <ul style="list-style-type: none"> <li>・膜式離型剤処理装置の適正使用、性能維持</li> <li>・廃棄物発生量の抑制</li> <li>・水漏れ、油漏れによる廃液発生への低減</li> <li>・切削油の不活性化</li> <li>・原単位で1.2%以上の削減</li> </ul>	
産業廃棄物の分別に関する事項		
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 金属くず：ショット粉、アルミ切粉、銅線、金型部品等分別し有価処理 木くず：パレットを分別し、業者引き取り	
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記内容を継続実施</li> <li>・一部廃プラの有価処理化</li> <li>・電子化を活用し紙ごみの減容</li> </ul>	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		(これまでに実施した取組)
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		(今後実施する予定の取組)

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和 5年度）実績】
--	-----------------

①現状	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
		0.000 t	0.000 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
	(これまでに実施した取組)	
	②計画	【目標】
産業廃棄物の種類		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
		0.000 t
(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 5年度）実績】

①現状	産業廃棄物の種類	①優良認定処理業者への処理委託量 ②再生利用業者への処理委託量 ③認定熱回収業者への処理委託量 ④認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
		① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
	廃油	1,568.200	0.000	0.000	0.000	1,568.200
	廃プラスチック類	22.200	0.000	0.000	0.000	22.200
	汚泥（泥状のもの）	36.900	0.000	0.000	0.000	36.900
	木くず	3.700	0.000	0.000	0.000	3.700
	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.100	0.000	0.000	0.000	0.100
	ばいじん（工場の排ガスを処理して得られるばいじん）	0.300	0.000	0.000	0.000	0.300
	蛍光灯	0.200	0.000	0.000	0.000	0.200
	乾電池	0.200	0.000	0.000	0.000	0.200
（これまでに実施した取組） 全量優良認定処理業者へ処理委託						

## (第5面)

産業廃棄物の種類	【目標】				
	① (t)	② (t)	③ (t)	④ (t)	全処理委託量 (t)
廃油	1,570.000	0.000	0.000	0.000	1,570.000
廃プラスチック類	22.000	0.000	0.000	0.000	22.000
汚泥（泥状のもの）	35.000	0.000	0.000	0.000	35.000
木くず	3.000	0.000	0.000	0.000	3.000
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	0.100	0.000	0.000	0.000	0.100
ばいじん（工場の排ガスを処理して得られるばいじん）	0.300	0.000	0.000	0.000	0.300
蛍光灯	0.200	0.000	0.000	0.000	0.200
乾電池	0.200	0.000	0.000	0.000	0.200
（今後実施する予定の取組） 全量優良認定処理業者へ処理委託					
②計画					
※事務処理欄					



(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。